ELECOM

スピーカ付きiPod Dock
ASP-P101シリーズ
取 扱 説 明 書

はじめに

このたびはスピーカ付きiPod Dock ASP-P101シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取り扱い説明書をお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られないと、けがや故障、火災などの原因となります。

⃠記号は「してはいけない」ことを示します。

●記号は「しなければならない」ことを示します。

警 告

- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電の恐れがあります。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちにACアダプタをはずし、ご購入店などにご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ったまま使用を続けると、ショートして火災になったり、本製品の故障の原因となります。
- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

注 意

- 直射日光があたる場所や、暖房器具のそばなど温度の高いところ、水がかかるおそれのあるところ、湿気やほこりの多い場所に本製品を設置しないでください。故障や感電、火災の原因になります。
- 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
- 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のために必ずACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
- ACアダプタを電源コンセントから抜くときは、コードを引っ張らずにACアダプタを持って抜いてください。

■ご使用にあたって

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータの喪失などの損害に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品を湿気やホコリの多いところで使用しないでください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
- お手入れの際には乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。
- 本製品のスピーカは防磁されていません。テレビやモニタから離して使用してください。

パッケージ内容の確認

本製品には次のものが含まれます。梱包には十分に注意しておりますが、万が一足りない場合がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 本体 ………………………………… 1個
- ACアダプタ ………………………… 1個
- USBケーブル ………………………… 1本
- 取扱説明書(本書です) …………… 1部

仕様

スピーカタイプ	φ18mm フルレンジ×2
スピーカ入力インピーダンス	8Ω
最大出力	2W(1W＋1W)
周波数帯域	200Hz～20,000Hz
入力端子	iPod　Dockコネクタ
電源	DC6V/AC100V(付属アダプタ)
形状寸法	幅80mm×奥行88mm×高さ25mm(突起物除く)
防磁機能	なし
質量	約85g(乾電池含まず)
ケーブル長	ACアダプタ 1.5m USBケーブル 1.5m
付属品	取扱説明書･USBケーブル･ACアダプタ

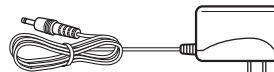
このような使い方ができます

■スピーカとして利用できます

iPod Dockとして、iPodを充電したりパソコン上で動作するiTunesと同期することはもちろん、Dockコネクタを通してiPod内の音楽を再生できます。

再生の操作はiPodから行います。

AC アダプタを使う

ACアダプタを本製品に接続すると、本製品のスピーカがいつでも利用できます。また接続したiPodを充電できます。

乾電池を使う

別売の乾電池(単4型乾電池4本)を使用して、本製品単体でスピーカが利用できます。場所を選ばず、どこでもiPodの音楽を楽しめます。

■iPodを充電できます

ACアダプタを本製品に接続することで、iPodを充電できます。

乾電池で本製品を利用している場合は、iPodを充電できません。

■パソコンと接続し同期できます

USBケーブルを使って本製品のUSB端子とパソコンを接続し、さらに本製品にACアダプタを接続すると、パソコン上で動作する「iTunes」と同期できます。
同期中はiPodへの充電は可能ですが、本製品のスピーカは利用できません。

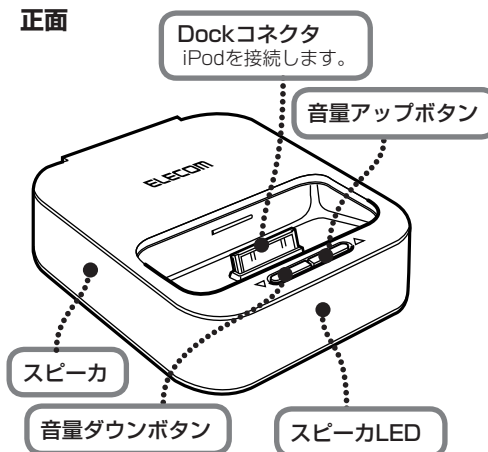
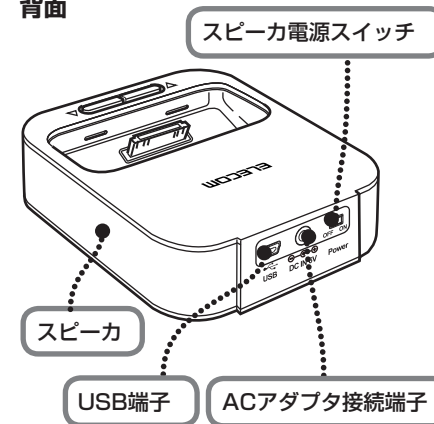
ACアダプタを接続していない場合、同期や充電ができません。

詳しい接続方法については、裏面をご覧ください。

1. USBケーブルを本製品に接続します。
2. ACアダプタを本製品に接続します。
3. iPodをDockコネクタに接続します。

各部の名称

正面

背面

スピーカ電源スイッチ	スピーカを使用する場合は、電源スイッチをONにします。スピーカLEDが点灯します。
音量アップボタン	スピーカの音量を上げます。
音量ダウンボタン	スピーカの音量を下げます。
USBコネクタ	iTunesと同期するときに使用します。
ACアダプタ接続端子	本製品同梱のACアダプタを接続します。ACアダプタ使用時は、パソコンに接続しなくてもiPodを充電したり、本製品のスピーカから音を出せます。

Dockアダプタを取り付ける

お手持ちのDockアダプタを取り付けます。

必ずDockアダプタを取り付けてください。Dockアダプタを取り付けずにiPodをDockコネクタに取り付けると、Dockコネクタが破損し故障の原因となります。

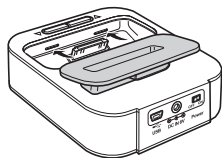
■本製品で使用できるiPodについて

本製品は、iPod底面にDockコネクタがあり、かつDockアダプタが添付している機種に対応しています。Dockコネクタのない機種には使用できません。

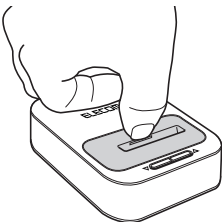
形状	通称	モデル
	nano	1st iPod nano / 2nd iPod nano(aluminium)
	nano	3rd iPod nano
	5G	iPod (with video)
	classic	iPod classic 80GB/160GB
	touch	iPod touch

※4G以前のモデルやiPod miniには対応いたしません

■Dockアダプタを取り付ける

1. Dockアダプタの凸部と、本体の凹部の2カ所をあわせてはめこみます。

■Dockアダプタを取り外すときは

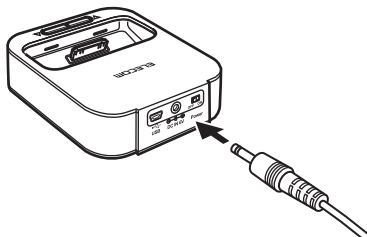
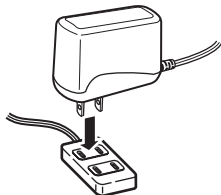
別のDockアダプタを取り付けたいときなど、すでに取り付けられているDockアダプタを取り外すときは、次のようにします。

1. Dockアダプタにある切り欠きを使って、Dockアダプタを取り外します。

ACアダプタなどを接続する

■ACアダプタを利用するときは

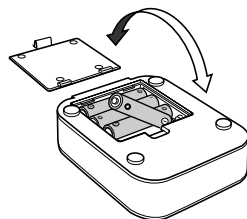
ACアダプタを本製品に接続すると、本製品のスピーカがいつでも利用できます。また接続したiPodを充電できます。

1. 本製品背面にあるACアダプタ接続端子にACアダプタのコネクタを接続します。

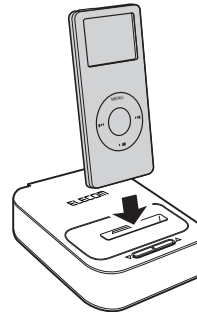
ACアダプタは、必ず本製品に付属のものをお使いください。他のACアダプタを使用すると、故障や火災の原因になります。

2. ACアダプタのプラグを。ACコンセントに接続します。

■乾電池を利用するときは

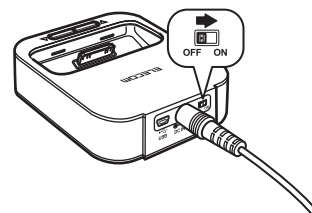
ACアダプタを接続せず、別売の乾電池(単4型乾電池4本)を使用して本製品単体で動作できます。スピーカ電源スイッチをONにすると、スピーカが利用できます。場所を選ばず、どこでもiPodの音楽を楽しめます。iPodへの充電はできませんのでご注意ください。

1. 本製品底面ふたを取り外し、乾電池を挿入します。

⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性の向きに注意して乾電池を挿入してください。

2. ふたを取り付けます。

iPodと接続する

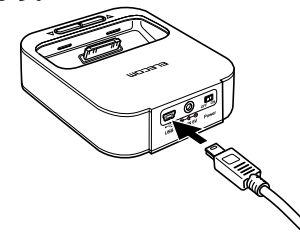
1. 「Dockアダプタを取り付ける」を参照して、本製品にDockアダプタを取り付けます。
2. 「ACアダプタなどを取り付ける」を参照して、本製品にACアダプタや乾電池といった電源を取り付けます。
3. iPodをDockコネクタに接続します。

スピーカを使う

1. 本製品背面にあるスピーカ電源スイッチをONにします。
スピーカLEDが青色に点灯します。

2. 音量アップボタンや音量ダウンボタンを押して、適度な音量に調整します。

スピーカの電源スイッチをONにした直後は、音量が0になっています。

パソコンと同期する

USBケーブルを使って本製品のUSB端子とパソコンを接続し、さらに本製品にACアダプタを接続すると、パソコン上で動作する「iTunes」と同期できます。
同期中はiPodへの充電は可能ですが、本製品のスピーカは利用できません。

1. 本製品背面にあるUSB端子にUSBケーブルを接続します。

2. パソコンのUSB端子にUSBケーブルを接続します。
3. 「ACアダプタを利用するときは」を参照して、本製品にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続します。
4. iPodをDockコネクタに接続します。

パソコンに認識され「iTunes」により曲が自動的に同期されます。

■ユーザーサポートと製品の保証

【 商品に関するお問合せは 】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL：0570-084-465
FAX：0570-050-012
[受付時間] 9:00 ～ 19:00
年中無休

スピーカ付きiPod Dock
ASP-P101シリーズ
取扱説明書
2008年2月28日 第1版